



静岡県内勤労者の仕事と生活意識調査(第13回)

【1000人を超える静岡県内勤労者から回答】

- 調査時期／2022年5月 ●回答者総数／1214名(男605名、女609名) ●調査方法／インターネット調査
- 静岡県内在住の勤労者約1000人を対象としたWEB調査。2016年5月の初回以来、年2回定期的に実施、2022年5月の今回は第13回目の調査となった。

■性別

男性	女性
605	609
49.8%	50.2%

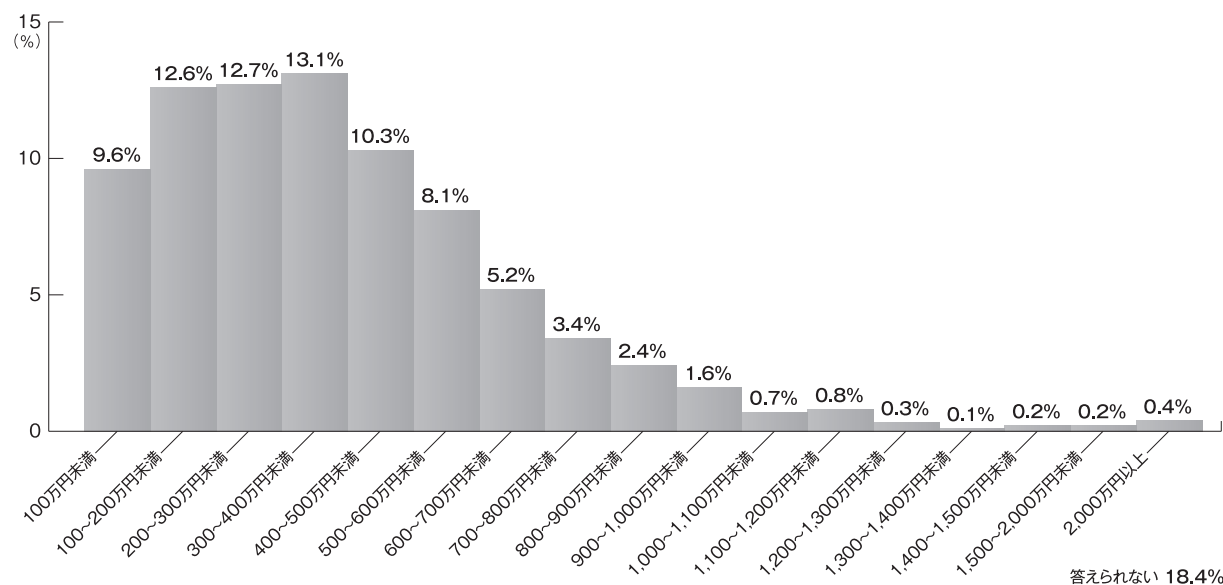
■年齢

20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上
135	255	391	339	94
11.1%	21.0%	32.2%	27.9%	7.7%

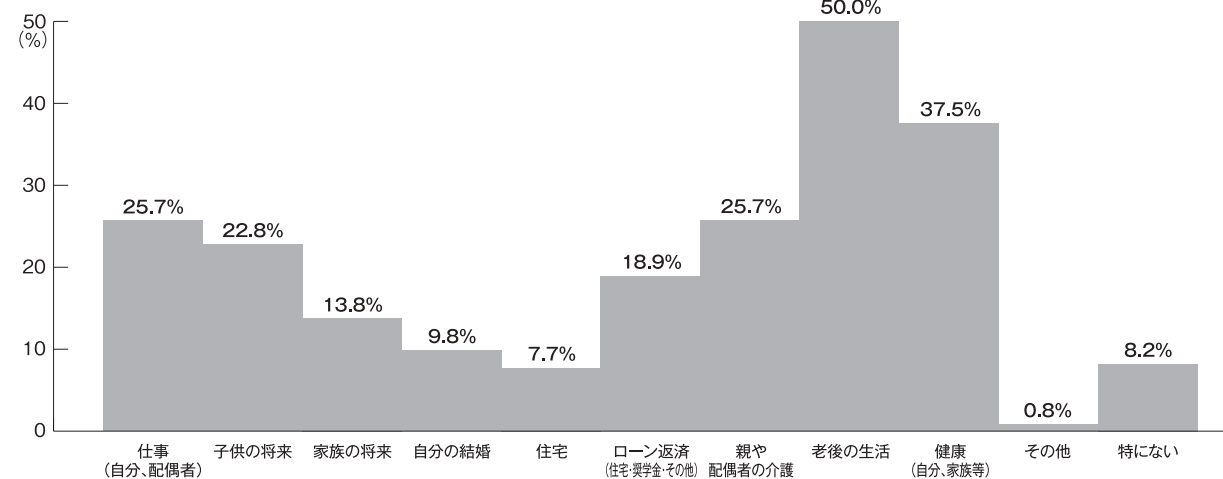
■雇用形態

正規社員	非正規社員
781	433
64.3%	35.7%

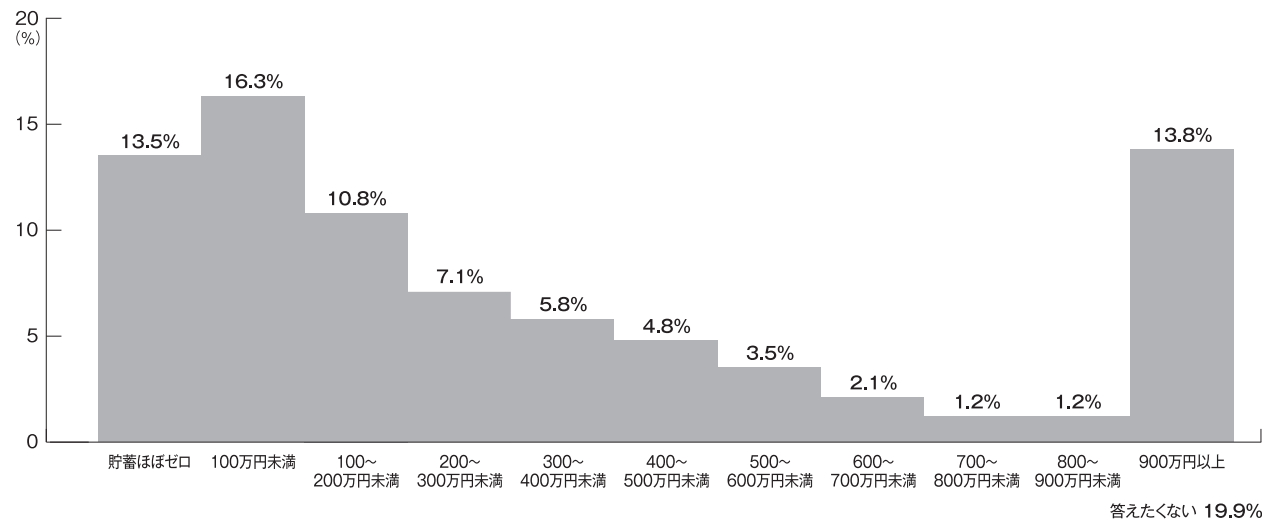
■本人の年収



■現在思う将来の不安 (複数回答／3つまで)

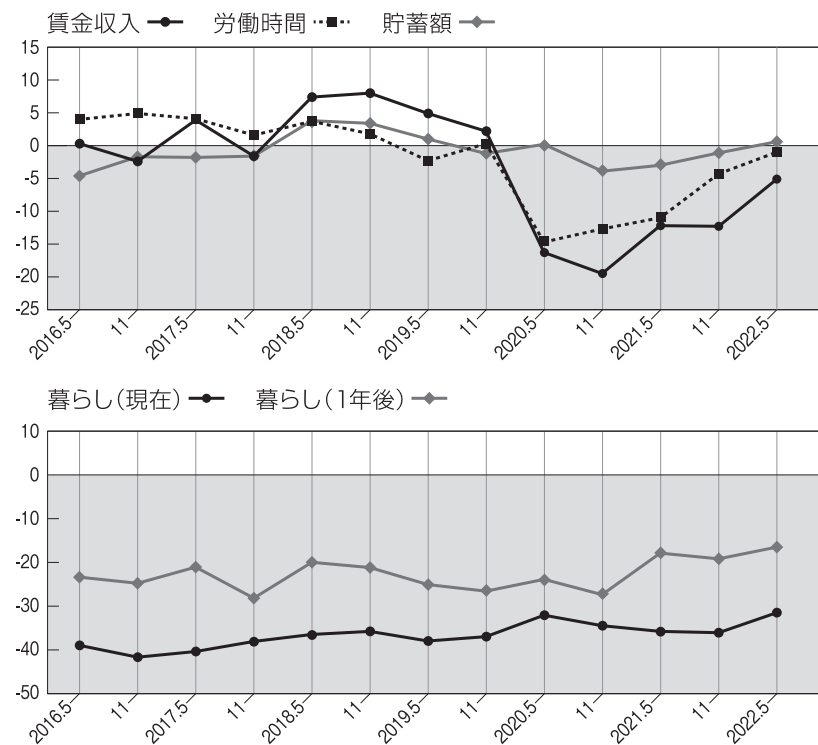


■貯蓄額



■勤労者DI-Diffusion Index 選択比率の差から動向を把握するための指標

「賃金収入」「貯蓄額」：1年前と比べて「増えた」・「変わらない」・「減った」
「労働時間」：1年前と比べて「長くなった」・「変わらない」・「短くなった」
「暮らし」(現在)：「余裕がある」・「普通」・「厳しい」
「暮らし」(1年後)：「ゆとりができる」・「変わらない」・「苦しくなる」・「わからない」



★注目ポイント

前回(2021.11)から
今回(2022.5)DI値の変化
賃金収入 △12.3→△5.1(+7.2)
労働時間 △4.3→△1.0(+3.3)
貯蓄額 △1.1→+0.6(+1.7)

暮らし(現在) △35.0→△31.5(+3.5)
暮らし(1年後) △18.1→△16.2(+1.9)

今回調査の注目ポイント

- 「現在思う将来の不安」の質問で、「老後の生活」が最も高い(今回50.0%)のは従来と同様だが、昨年度の2回の調査と比較して今年度は若干ではあるが、増加傾向に転じた。(9回53.5%、10回54.8%、11回47.9%、12回45.5%)
- 「賃金収入」はコロナ禍初期の第9回(2020年6月)に大きく落ち込み(△18.5)、11回は+7.3と上昇、12回は△0.1と微減であったが、今回は11回同様に+7.2と賃金アップに転じている。
- 「労働時間」もコロナ禍初期の第9回に大きく落ち込み(△15.0)、前々回の第10回から少しずつ回復傾向、前回12回も前々回から+6.7と上昇していたが、今回も+3.3と上昇し、少しずつながら労働の長時間化傾向が表れている。
- 「暮らし(現在)」は10回以来少しずつ悪化の傾向にあったが、今回は+3.5と若干の改善となった。
- 「暮らし(1年後)」は11回の調査で+9.5と大きく改善したが、前回12回は△1.3とやや悪化、今回は+1.9と若干の改善傾向となった。